

第4学年2組 算数科学習指導案

場所 4年2組教室

1 単元 垂直・平行と四角形 (本時7/14)

2 本時の目標と授業後になりたい「みちガエル」の姿

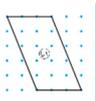
< 目標 > 四角形を分類する活動を通して、台形と平行四辺形の特徴を理解することができる。  
(知識・技能)

< みちガエル > 四角形を分類した理由について説明することができる姿。

3 発言しようとする意識を高めるための取り組みについて

自信をもって発言できるよう、ホワイトボードを使用し、図形を操作したり、考えを書き込んだりしておく。

4 展開

段階	子供の活動	教師支援 (㊦主体的に学び続ける手立て ㊧個に応じた指導)
つかむ (5)	1 前時の学習を振り返る。 ・前時まで、垂直や平行について学んでいることを確かめる。 2 問題意識をもつ。 ・四角形を仲間分けしたいな。 3 学習課題を設定する。	・前時の振り返りシートから、「今まで学習してきたことを利用して仲間分けをしたい」と書いている児童を指名し、本時につなげる。 ㊦ 「どんな課題にしたいですか。」
見通す (3)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">                         図形の特徴に注目して、仲間分けしたい。                     </div> 4 なりたい「みちガエル」姿と見通しをもつ。  <u>四角形を分類した理由を友達に説明できる。</u> ・見通し ① 平行になっている辺を見つければ、仲間分けができそうだね。	㊦ 「何ができたらみちガエルかな。」 ・「平行」に着目することができるように、前時まで習った内容を掲示しておく。 ・「辺の長さ」や「角の大きさ」など、「平行」以外の視点が出た場合、それを認めた上で、本時は「平行」に着目するように伝える。 ・「今からまち・かんガエルタイムです。」 ・平行関係が理解できるように、ドット図での平行関係はどんな場合か提示する。 ・三角定規を使った平行の調べ方について復習できるように、掲示を使って確認する。 ・四角形の分類を考えられるようにワークシートを用意する。 ・解決の見通しが立たない児童には、三角定規を使って、向かい合う辺が平行かどうかを調べるように助言する。 ・平行な辺の組が分かるように、色ペンで印をつけ、視覚的な理解を促す。 ・分類の理由を言語化できるように、ワークシートに書き込むように指示する。
深める (30)	5 ひとりで「まち・かんガエル」タイム (1) 四角形を分類する。 ① 平行な直線の組が2つ   ② 平行な直線の組が1つ   ③ 平行な直線の組がない  (2) ワークシートで分類をし、理由を記入する。 ・平行が2つあるから。 6 みんなで「まち・かんガエル」タイム (1) 四角形の分類について考えたことをチームで発表する。 (2) 全体で意見を交流する。 ・平行な直線の組が2つ、平行な直線の組が1つ、平行な直線の組がない3つの分類に分けられることを確認する。 (3) 結果をもとに、台形と平行四辺形の定義を確認する。 ・向かい合う1組の辺が平行な四角形を台形という。 ・向かい合う2組の辺がどちらも平行になって	・「平行」に着目することができるように、前時まで習った内容を掲示しておく。 ・「辺の長さ」や「角の大きさ」など、「平行」以外の視点が出た場合、それを認めた上で、本時は「平行」に着目するように伝える。 ・「今からまち・かんガエルタイムです。」 ・平行関係が理解できるように、ドット図での平行関係はどんな場合か提示する。 ・三角定規を使った平行の調べ方について復習できるように、掲示を使って確認する。 ・四角形の分類を考えられるようにワークシートを用意する。 ・解決の見通しが立たない児童には、三角定規を使って、向かい合う辺が平行かどうかを調べるように助言する。 ・平行な辺の組が分かるように、色ペンで印をつけ、視覚的な理解を促す。 ・分類の理由を言語化できるように、ワークシートに書き込むように指示する。 ・チームで操作して分類できるように、板書と同じ四角形を貼ったホワイトボードを用意する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>&lt; 授業の山場 &gt;</b>                          仲間分けの仕方が理解できたか確認できるように、自分であらかじめ作成しておいた「とっておきの四角形」と教師が用意した図形を一枚ずつ出し、チームで仲間分けをする場を設定する。                          → 分かった特徴をもとに分ける。</p> </div>

	<p>いる四角形を平行四辺形という。</p> <p>7 新たな図形をさらに分類し、台形や平行四辺形になるわけを考える。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>&lt;まとめ&gt;</b>          平行な辺の組の数で、台形・平行四辺形・ふつうの四角形に分類できる。</p> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">振り返る (7)</p>	<p>8 &lt;ふりかえりタイム&gt;</p> <p>(1) 「みちガエル」になれたかを自己評価する。</p> <p>(2) 本時で学んだことや思ったことを書く。</p> <p>・平行の組の数に着目することで四角形を分類できた。</p> <p>(3) 次にがんばりたいことを考える。</p> <p>(4) 学習に取り組む態度の自己評価をする。</p>	<p>・本時で扱っていない「長方形」や「正方形」が出たときには、「平行」という視点から考えると平行四辺形の仲間になると、軽く触れる程度とする。</p> <p>④ うまく書けない児童には、台形や平行四辺形の特徴がどんなものだったかを尋ねる。</p> <p>⑤ 学習の流れを確認させ、次にがんばりたいことを考えさせる。</p>